



統一事業と
近世 1

戦国時代の大阪にタイムスリップ

→ 学習課題

- 戦国時代の全国統一の動きを想像しよう。

私のイメージ

--	--

→ 歴史に迫るスナップショット



▲豊臣秀吉の天下統一の拠点となった大阪城



昨日戦国無双ってゲームをしたんだ！
戦国武将を選んで次々と武士をなぎ倒していきんだけど、僕は織田信長になって全国統一に成功したよ！



▲戦国無双の一場面

あら？

全国統一したのは豊臣秀吉じゃなかったっけ？
(ゲームの世界だから、まあいっか…)
歴史的には、織田信長は全国統一を目前にして亡くなったのよ。信長の家臣の豊臣秀吉が、初めて全国統一をしたはず。



え！そうなんだ！でもどうして豊臣秀吉が初めてなの？たとえば源頼朝や足利尊氏は幕府を開いたよね。幕府を開いたら、全国統一じゃないの？

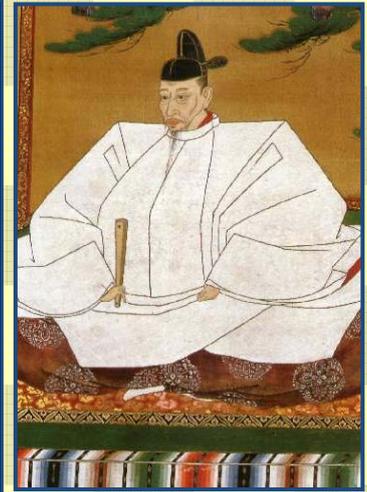
確かに歴史学者の間では、豊臣秀吉が全国統一を初めて成し遂げた人といわれています。しかし、あなたの言うとおりの、豊臣秀吉は幕府を開いていませんね。



ますます分かんなくなっちゃったよ…。「全国統一」ってどういう意味なの？豊臣秀吉は、他の戦国武将とはどこが違うのだろう。



- …もともとの豊臣秀吉の領地
- …1582年山崎の戦い直後の領地
- …1582年賤ヶ岳の戦い
- …1585年四国平定後の領地
- …1587年九州平定後の領地
- …1590年関東平定後の領地
- …1590年奥州平定後の領地
- …戦わず秀吉の臣下になった武家の領地

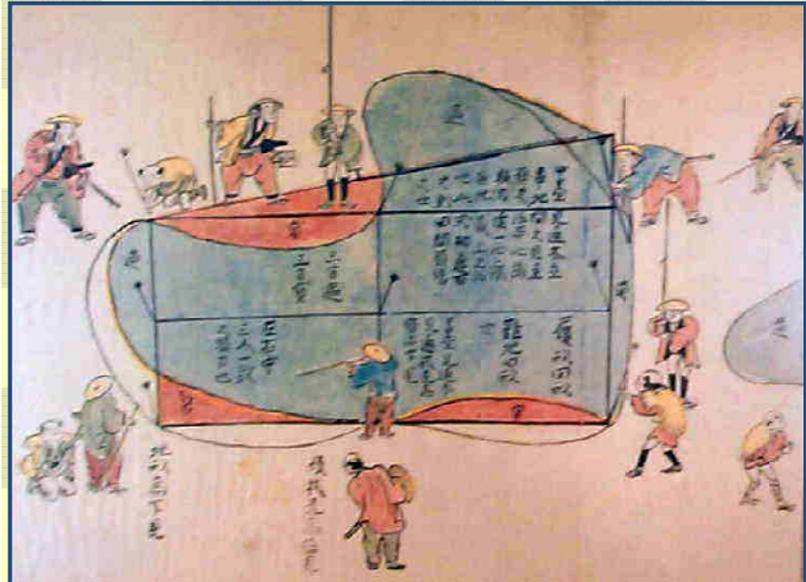


▲豊臣秀吉

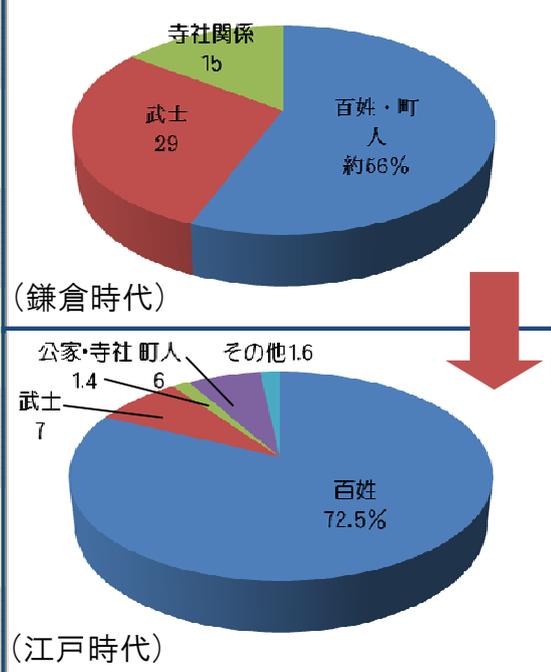
鎌倉時代から江戸時代にかけて、なぜ身分別の人口比率が変化したのだろうか？



▲豊臣秀吉の全国統一の経過



▲検地の様子



▲身分ごとに占める人口の割合

「全国統一」とは、どういうことだろう？

全国の武将をみんな倒すことだよ！



A君

全国の土地を支配することじゃないかな。



Bさん

全国の人々の暮らし方を変えちゃうことじゃない？



C君

全国から税金を集めるようになったんじゃないかな。



Dさん





統一事業と 近世2

統一事業の経過について知ろう

→ 学習課題

ー 豊臣秀吉は、どのような支配の仕組みをつくっていったのだろうか？

私の予想

→ 時代の見取り図

時代	世紀
室町	15
桃山	16
江戸	17

- ・1582 本能寺の変
- ・1588 刀狩令発布
- ・1590 豊臣秀吉, 全国統一
- ・1600 関ヶ原の合戦
- ・1603 徳川家康, 征夷大將軍に任命される
江戸幕府確立
- ・1605 武家諸法度, 禁中並公家諸法度の制定
- ・1614-15 大阪の陣
- ・1649 慶安の御触書

▲統一事業に関する出来事

A 土地の支配

キーワード: 石高

もともと石高は、土地の「米」の生産力を示します。この時代には、米以外の作付から、田畑や屋敷の地価に至るまで、土地の価値すべてが米の価値に換算され、土地の石高として表されました。

豊臣秀吉は、1582年から太閤検地を始めました。それは九州から東北まで支配地域の全体に及びました。太閤検地は、土地の面積の示し方・測り方を統一し、その土地から生み出される収穫量を、石高で定めるものです。

その結果、百姓には土地の所有が認められるいっぽうで、石高に応じた年貢等の負担が義務づけられました。秀吉に土地を取り上げられた大名には、領地を預けおき、統治を委ねることで、一元的な支配体制をつくらうとしました。

江戸幕府になると、石高にもとづいて全国の大名を格付けした上で、藩の支配を委ねました。この仕組みを幕藩体制と呼びます。石高は、藩(大名)の負担や役職を定める基準ともなっていました。

B 人々の支配

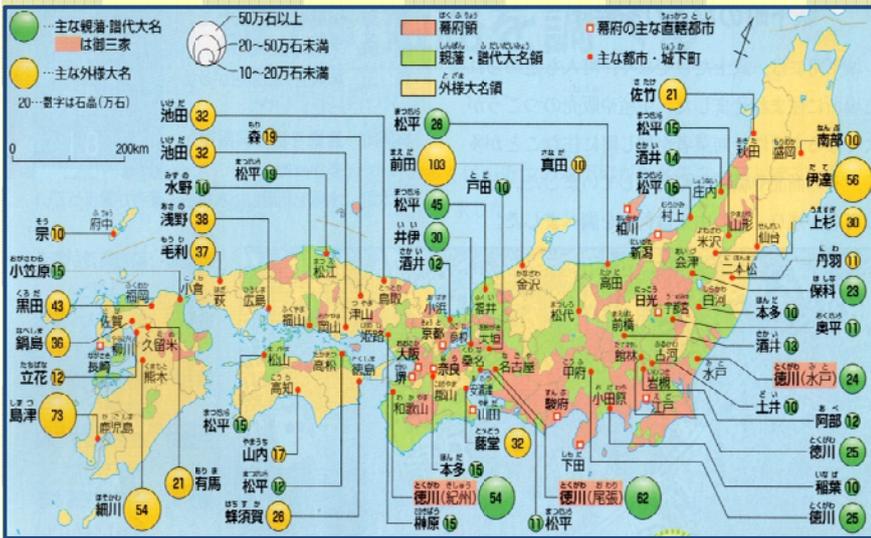
コラム: 藩領を外国に売った大名

大村領(現在の長崎)は、1517年以降、キリシタン大名の大村純忠によってイエズス会に寄進されていました。しかし、秀吉の九州平定後、領地は取り上げられました。

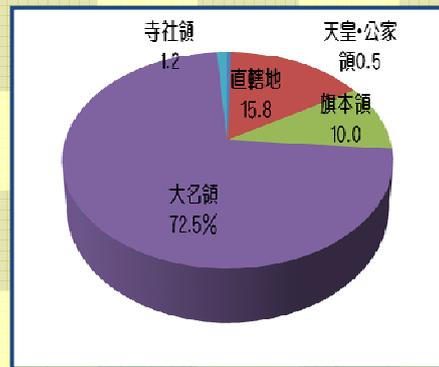
秀吉は、検地を通して土地の所有者を定めるとともに、実際にそこで耕作する人も決めようとしていました。そのために実施されたのが刀狩です。刀狩は、百姓の武器の使用を制限し、生産に専念させるものでした。また転職を禁止し、身分を固定化することで、兵農分離を実現しようとしていました。

江戸時代に入ると、幕府は、大名・武士向けには武家諸法度を、天皇や公家向けには禁中並公家諸法度を定め、役割に応じた仕事を果たすことを指示しました。農民には、つましやかな生活を営み、生産に励み、商品作物を勝手に作ることを禁ずるなど、経済活動を管理しようとしていました。





▲江戸時代の各藩の石高



▲江戸時代の領地の割合

禁中並公家諸法度(抜粋)

一 天子諸芸能の事、第一御学問なり。学ならずんばすなわち古道明らかならず、しこうしてよき政事太平を致すもの未だこれ有らざるなり。…(中略)

一 武家の官位は、公家当官の外たるべき事

▲公家に出された法令

慶安の御触書(抜粋)

- ・酒や茶を買って飲まないこと。
- ・粟や稗などの雑穀などを食べ、米を食べ過ぎないこと。
- ・麻と木綿の他は着てはいけない。
- ・早起し、朝は草を刈り、昼は田畑を耕作し、夜は縄をない、俵を編むなど、それぞれの仕事をきちんと行うこと。

※近年はこの法令の存在自体が疑問となっている。

▲農民に出された法令

武家諸法度(抜粋)

- 二. 大名は領地と江戸を交互に勤めなければならない。(参勤交代)
- 三. 新しい城造りはかたく禁止する。
- 五. 謀反を企て、仲間を作り、誓い合うようなことは許さない。
- 七. 大名、近習、物頭は幕府の許可なく勝手に結婚してはならない。
- 十四. 勝手に関所を設けてはならない。
- 十五. 500石積み以上の船を持つことを禁ずる。
- 十八. 何事も幕府の決めた掟のとおりに従わなくてはならない。

▲大名に出された法令

I 用語の意味を調べよう

1. 次の用語の意味を調べよう。
石高制、幕藩体制、武家諸法度、禁中並公家諸法度
2. 上の資料を読んで、下の表を完成させよう。

II 事実を比較・分類しよう

①江戸幕府による統制の内容を、身分ごとに整理しよう。

大名(武士)に対して	
公家(天皇)に対して	
農民に対して	

②禁中並公家諸法度には、どんなことが書いてあるか。

[] は [] に専念するべきである。

③②から読み取れる幕府のねらいは何だろう。

[] が [] に関わることを否定している。

III 事実の理由を説明しよう

3. なぜ太閤検地や刀狩、また2のような統制が行われたのだろうか。下の図を完成させて説明しよう。

江戸幕府が直接支配できていた領地は、直轄領と旗本領を合わせても全国の()%だね。それでも幕府は全国を統一していたと言えるのかな？

人々の身分は、はっきり分かれていない。海や山、畑で生産に携わることもあれば、ときには戦もする。

人々の身分を()する。身分に応じた()を定め、それを果たすことを求める。





統一事業と近世3

統一事業から近世の特色を捉えよう

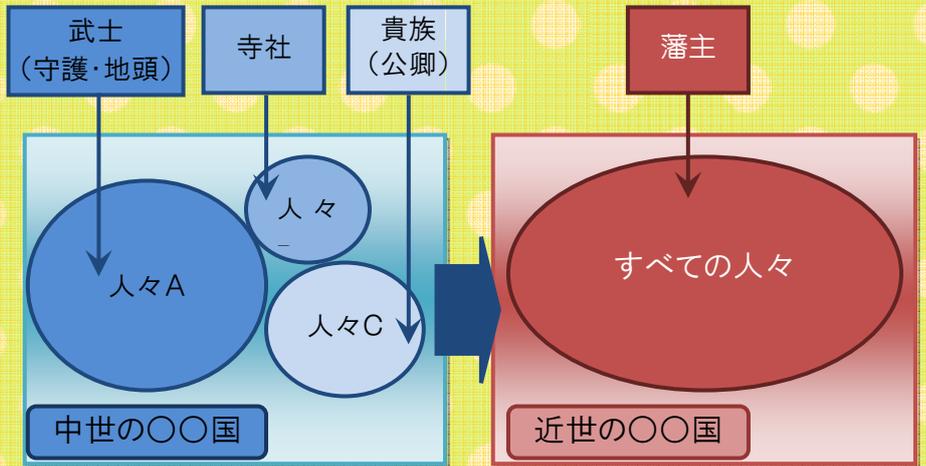
→ 学習課題

- 中世から近世にかけて、身分制度はどのように変化したのだろうか？

私の結論

--	--

→ 時代を捉えるモデル



▲中世から近世にかけての支配構造の変化



中世の身分社会

鎌倉時代から室町時代にかけて、朝廷に代わって武家が大きな権力をにぎるようになりました。しかし、朝廷や寺社なども、依然として自分たちが支配する領地(荘園)をもっていました。つまり、この時代には、1つの地域に複数の領主が存在していました。

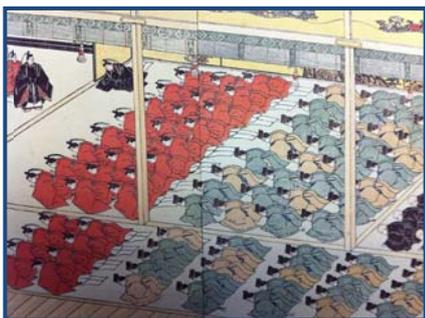
人々の身分も1つに定まらず、複数の役割を同時に担っていました。田や畑、山や海で生産活動に携わりながら、いっぽうで武装し、団結して(たとえば一揆)自分たちの利益を守ろうと努めました。このような世の中を、中世といいます。



近世の身分社会

室町時代後期になると、武力を背景に戦国大名が朝廷や寺社の領地にも勢力を広げ、より広い土地を治めるようになりました。またこれらの土地も、検地や刀狩を経て中央の権力によって一元的に支配されるようになりました。このような世の中を、近代といいます。

江戸時代になると、幕府は公家や寺社を政治から遠ざけ、学問と祭りごとに専念させようしました。また大名には、参勤交代や一国一城の決まりを課し、行動を規制しました。その結果、江戸時代には、間接的ながらも幕府が全国の藩を支配できる仕組みができあがりました。しかし、藩の自律性も高く、人々の間では実際に年貢を納める「〇〇藩」を生活の拠り所と考える意識が芽生えるようになりました。



▲将軍拝謁の様子



▼農民の農事暦

4月	中	苗代肥, 春田ごしらえ, 牛耕, 畔塗り, 芝草入れ, 水口・排水口調整	茶摘み, 麦藁倒し, 麦刈り, 綿施肥, 大豆・小豆施肥, 菜種がり	
5月	節 半夏	田植え 一番除草	紅花収穫, 麦刈り, 畑牛耕, 綿中打ち, 麦脱穀, 胡麻播種, 芽除草	田植え休み さんはいのあがり
6月	7日 土用	二番除草 三番除草	草刈り, 大根播種, 綿の芯止め, 麻刈り	代満の祝日 祇園社祭礼 御講・寺判
7月	13日・14日 15日 210日	水干し 堀切り	夏大豆・夏小豆収穫 綿除草, 胡瓜・牛蒡種取り	盆掃除 盆休み, 盆礼

どんな思いでこんなに熱心に仕事をしていたんだろう。



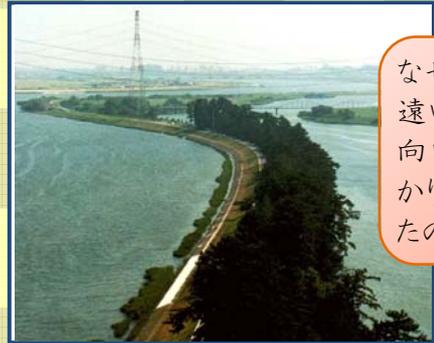
▲村上水軍が使っていたとされる船

▼刀狩令と同時に出た命令

海賊船禁止令(抜粋)

- 一 諸国の海上において速やかに海賊行為を辞めよ。備後・伊予両国の間の伊津喜嶋(齋島)にて盗船をした族がいることを秀吉は聞いた。
- 一 国司は速やかに、国々浦々船頭獵師、いずれも船を使う者は今後は絶対に海賊をしないと旨の誓詞を書かせて、それを取り集めよ。
- 一 これより、海賊の輩が出没したら成敗を加え、さらにその領主の在所・知行を末代まで没収する。
秀吉

なぜ薩摩藩は遠い岐阜に向いて、大掛かりな工事をしたのかな。



▲薩摩藩の宝暦治水のあと(岐阜県)



I 用語の意味を調べよう

II 事実の関係を組み立てよう

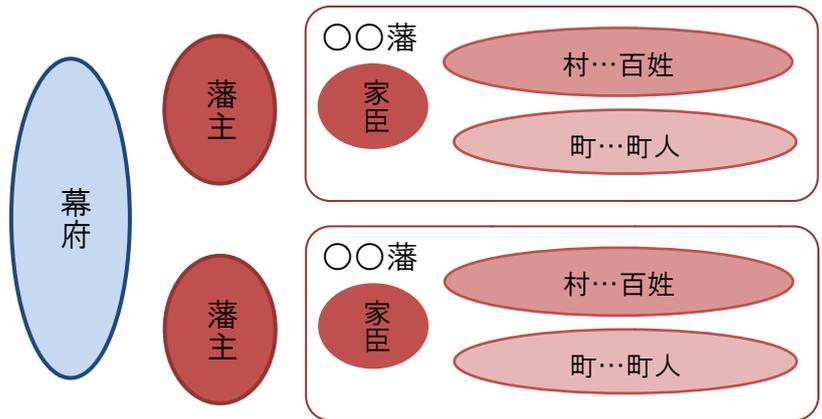
水軍で知られる村上氏のうち、能島村上氏は、のちに小早川氏の家臣に、因島村上氏は毛利氏の家臣になりました。来島村上氏は、大名に取り立てられました。



1. 次の用語の意味を調べよう。

莊園, 農事暦, 海賊, お手伝い普請, 宝暦治水

2. 下の図に, ①直接的に支配している関係には実線の矢印を, ②間接的に支配している関係には点線の矢印を書き込んで, 近世の社会を説明しよう。



3. 「海賊船禁止令」を読もう。豊臣秀吉は、海賊にどのように対応しようとしたのだろう。上の図を使って説明しよう。

4. 「全国统一」とは、どういう意味だろう。最初のページの予想を振り返ろう。

- (1) さんの説に同意します/しません。
 (2) さんの説につけ足します。
 なぜなら だからです。

